

## テーマ：今、フクシマにて共に悩む！

—怒りと悲しみの《こえ》に呼び覚まされて—

「原子力行政を問い直す宗教者の会」は、この問題に宗教的課題として向き合う宗教者（信仰者）の宗教宗派を超えた緩やかなネットワークです。1993年の結成以来、原発や各関連施設の立地や消費地において研究集会や申入れ行動などを行ってきました。2001年には『原発 総被曝の危機』を出版し、また2008年の敦賀市での全国大会に於いて「原発震災」を取上げ、警鐘を鳴らしてきました。

しかしながら昨年3月11日、恐れていたことがまさに現実化し、深い悲しみと反省の気持ちをこめ、今、最も苦しみと困難に晒されている福島において、人々の声に耳を傾け、あらためてそれぞれが何をすべきか、問い直して行きたいと思えます。

■期日：4月17日(火)～18日(水) 《19日に福島と東京で申入行動》

■会場：コラッセ福島 (福島県福島市三河南町1番20号)

- JR福島駅(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)西口を出て右へ徒歩3分
- 東北自動車道 福島西IC、飯坂ICから車で約15分

### スケジュール

#### ■17日(13時15分開場)

14時 開会／礼拝／趣旨説明

15時 宗教者による現地報告

☆吉岡棟憲さん(福島・曹洞宗)

☆田中徳雲さん(南相馬・曹洞宗)

☆佐々木道範さん(二本松・真宗大谷派)

☆片岡輝美さん(会津若松・日本基督教団)

19時 市民による現地報告

☆吉野裕之さん(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク) 他

#### ■18日

9時 分科会(宗教者と市民の対話)

13時 講演①「放射線被曝の歴史」

講師：稲岡宏蔵さん(科学技術問題研究会)

16時 講演②「フクシマ被爆労働の実態」

講師：西野方庸さん(関西労働者安全センター)

19時 全体討議／まとめ

#### ■19日(申入れ行動)

福島県庁>東京へ移動>関係省庁

■参加費：17日 1000円、18日 2000円 (食費・交通費・宿泊費は別)

■申込・問合先 原子力行政を問い直す宗教者の会 東京事務所 090-3213-4575(大河内)  
〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-5-12 寿光院内 FAX：03-3654-2886  
Eメール sewanin@mukakumuhei.net ホームページ <http://gts.mukakumuhei.net/>

